

アジア研究教育ユニット（特別経費）平成 29 年度教育研究報告書

事業課題名	学生・院生および引率教員の海外派遣／慶北大学校
代表者名	久野秀二（経済学研究科）
事業概要 (600 字程度)	<p>2010 年度に締結した経済学研究科と慶北大学校経商大学との交流協定に基づき、韓国への短期学生派遣プログラムを行った。ソウルでは、韓国銀行貨幣金融博物館、農業博物館、国会議事堂、韓国国立中央博物館、西大門刑務所歴史館への訪問を行った。テグでは、慶北大学校経商大学の協力を得て、慶北大学校経商大学の教員による講義、大学院生合同ワークショップを開催し、その他テグにある Samsung の経済革新センター（スタートアップ企業を支援する施設）と近郊クミにある LG の電気機器製造企業の工場と Samsung のスマートギャラリーへのフィールド・トリップを実施した。</p> <p>経済学研究科の東アジアコースに所属する大学院生 9 名、文学研究科の大学院生 1 名、経済学部の学生 1 名の計 11 名が参加した。</p>
成果の概要 (800 字程度)	<p>2018 年 2 月 8 日～2 月 15 日までの 8 日間、経済学研究科の大学院生 9 名、学部生 1 名、文学研究科の大学院生 1 名が本プログラムに参加した。</p> <p>本プログラムは経済学研究科の国際プログラム「東アジア持続的経済発展研究コース」の配当科目である「Overseas Field Research」および「Field Research in East Asia」を兼ねて実施された。2013 年度の派遣プログラム以来、今回で 2 回目となる。今年度は慶北大学校経商大学の全面的な協力を得ながら、①韓国の文化・政治・経済に関する講師陣による講義と、文化施設・政府機関・現地企業など各講義に関連したフィールド・トリップとを組み合わせた短期研修、②慶北大学校経商大学との合同大学院生ワークショップ、③テグ以外の地域（ソウルおよびクミ）へのフィールド・トリップを主な内容とした。慶北大学校経商大学の尽力により、②および③の充実を図ることができた。テグ訪問時には慶北大学校経商大学の協力によって、同大学の教員による講義、学生との研究交流の時間を設けることができたほか、クミを訪問し、電気機器製造企業の工場へのフィールド・トリップを実施した。</p>